

試験名	短大・高卒程度(農業土木)
区 分	専門試験

〔例題１〕 水食の仕組みと因子に関する次の記述のＡ～Ｃに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

細流浸食を放置したところ、畑の畝間、くぼみなどに雨水などの流出水が集まり、次第にそこを削って、耕作の支障となる大きな溝に発達する現象を〔Ａ〕という。

水食は、一般に土地の傾斜が急になるほど、地表流出水の流れる斜面長が〔Ｂ〕ほど、浸食はひどくなる。また、土層の浸透能も水食の程度に影響し、浸透能の小さい土層では、降雨が地中に浸透しにくく、地表流が発生するため、水食が〔Ｃ〕。

- | A | B | C |
|--------|----|--------|
| １．面状浸食 | 短い | 起こりにくい |
| ２．面状浸食 | 短い | 起こりやすい |
| ３．面状浸食 | 長い | 起こりにくい |
| ４．ガリ浸食 | 短い | 起こりにくい |
| ５．ガリ浸食 | 長い | 起こりやすい |

試験名	短大・高卒程度(農業土木)
区 分	専門試験

〔例題 2〕 1800 m^3 (締固めた土量) の盛土を造成するために必要な地山の土量と、ほぐした土量の組合せとして妥当なのはどれか。

ただし、土量の変化率は、ほぐし率を 1.2，締固め率を 0.9 とする。

	地山の土量	ほぐした土量
1.	1500 m^3	1350 m^3
2.	1620 m^3	1350 m^3
3.	1620 m^3	2160 m^3
4.	2000 m^3	2160 m^3
5.	2000 m^3	2400 m^3